

Big Profit Little Premium Look Probiotics



「プロバイオティックとは？」

- **Probiotics**とは日本語で「**共生物質**」と訳されます。
Antibiotics (抗生物質) に対して考え出された言葉です。
- 抗生物質というのはご存知の通り、病気の治療や予防のために、病原菌を殺す目的の薬です。
しかし、病原菌などの悪玉菌だけでなく、善玉菌も無差別に殺してしまうためマイナスの作用も多くあります。
- **プロバイオティック** (共生物質) とは、**イースチャーE**をはじめNYS製品に入っている酵母や乳酸菌などの善玉菌であり、その力で悪玉菌である病原菌を抑えたり、動物の免疫を活発にして病気を予防するものです。
- ◎ 抗生物質の副作用や、食品に残留した場合の安全性が問題とされ、使用が制限されてきている現在、**NYS製品**はまさに、薬害から家畜を守り、安全な食品（乳製品&肉製品）生産のお手伝いをいたします。

『さすがはイースチャーEだ 内容と品質が違う』

Q：イースチャーEと他のイーストカルチャーの違いは何でしょうか？

A：酵母を発酵させると炭水化物がほとんどアルコールに変わり、最終製造過程でそのアルコールは揮発してしまいます。そのため蛋白質は濃縮され、培地の原材料の粗蛋白質がせいぜい8~10%にすぎないのに、酵母発酵で出来たイーストカルチャーの粗蛋白質は少なくとも20%以上になります。イーストカルチャーとうたっている製品で、粗蛋白質が20%以下の製品は、イーストカルチャーに穀類その他を加えた発酵飼料と呼ばれるものです。

※イースチャーEはトリプルストレイン (CZ1039・CZ8810&NT13) の酵母からできたイーストカルチャーをベースに活性の高い生きた乳酸菌・枯草菌(ともにマイクロカプセル化されている)、アスペルギルス・オリゼー発酵抽出物、プロティネイト亜鉛、そして消化管内の善玉菌の栄養になり悪玉菌やウイルスを排出する作用もあるマンナンオリゴ糖、各種酵素(アミラーゼ、プロテアーゼ、セルラーゼ、リパーゼ、フィターゼ)を配合したプロバイオティックです。

※イーストカルチャーというのは「酵母菌を発酵培養した培地を、発酵能力を備えたまま(酵母菌の活性を残したまま)乾燥した製品である」とAAFCO(米国飼料規定協会)で定義されています。

乳牛編

Q：イースチャーEを給与すると乳量、乳脂肪、乳蛋白質はどうなりますか？

A：酵母、乳酸菌、枯草菌、アスペルギルス・オリゼー発酵抽出物の働きでルーメンのプロトゾアや腸管の善玉微生物の活動が盛んになり、さらに豊富に含まれるセルラーゼ(繊維分解酵素)、プロテアーゼ(蛋白分解酵素)、アミラーゼ(炭水化物分解酵素)の各種酵素の作用により飼料中の蛋白、澱粉、繊維その他栄養素の消化が向上し乾物摂取量が大幅にアップします。また、消化吸收の高い有機ミネラル(プロティネイト亜鉛)が含まれています。これらの働きによって肋腹のある脚のしっかりした蹄の丈夫な餌の食い込める牛になるため、乳量の増加、体細胞数の減少、乳脂肪率、乳蛋白質の向上改善が見られます。

Q：乾乳期から周産期の使用方法はどうしたらよいですか？

A：給与例を示すと次のようになります。



Q：食欲不振や食滞の牛には改善効果がありますか？

A：食欲不振の牛や食滞の牛には、1回50g~100gをめぐるま湯又は水に溶いて与えて下さい。ルーメン機能がすぐに回復し、餌を食べ始めます。第4胃変位やケトosisの牛にも同様に与えて下さい。

Q：高水分の品質の悪いサイレージや粗悪な粗飼料を給与するとき、イースチャーEは効果がありますか？

A：イースチャーEを給与すれば、ルーメン内の微生物が増殖するので、サイレージの処理能力が向上し悪影響は減少します。サイレージ、乾草を切替える時もトラブルは減ります。ただ、このようなときは、イースチャーEの給与量は2倍にしてください。

Q：イースチャーEは糞尿の消臭に効果がありますか？

A：イースチャーEはプロテアーゼ(蛋白分解酵素)の作用により、窒素分の消化率をあげることで、糞尿の悪臭のもととなっている有害な窒素化合物を減らし、悪臭を抑えます。また、枯草菌の作用により、糞尿中の繊維や窒素分の分解が早くなり、悪臭が減ります。堆肥の発酵が良くなり、尿槽のスカムの分解も早くなります。

●イースチャーEの使用法(1日1頭当り)

高泌乳牛・泌乳牛 10g~30g 肉牛(導入・前期・仕上) 5g~10g
哺育・育成・乾乳牛 5g~15g 養豚(子豚・授乳・肥育) 3g~10g

●イースチャーEの成分内容

粗タンパク…25%以上 粗繊維…1.7%以下 カルシウム…0.1%以上
粗脂肪…5.5%以上 粗灰分…1.0%以下

●イースチャーEの原材料名

トウモロコシ コーンシロップ 麦芽 小麦 ソルガム マンナンオリゴ糖
糖蜜 酵母菌 麹菌発酵抽出物 乳酸菌 枯草菌

●イースチャーEの含有する飼料添加物

硫酸亜鉛

●イースチャーE(混合飼料) 10g

子牛編

Q：新生子牛や哺育中の子牛に与えるとなぜ良いのですか？

A：生まれたばかりの子牛のルーメンは無菌状態で、プロトゾアなどのルーメン微生物は住んでいません。イースチャーEに含まれる4つの菌がルーメンの環境をつくり、丈夫なルーメンになるので粗飼料の食い込みが良くなります。そのため発育が良く、下痢や肺炎に強い、肋腹のある子牛に育ちます。生まれてすぐ、または導入してすぐイースチャーEを10g給与することで悪玉菌から子牛を守り、善玉菌を消化管に定着させます。

肉牛編

Q：肥育牛には使用できますか？

A：導入時1ヶ月間は1日10~20gを給与すると環境ストレスが少なく事故が減ります。その後出荷するまで1日10gを与えると、食い止まりや鼓張症その他事故が減り、体重の増体、ロース芯面積や肉質の改善がみられます。※和牛の繁殖母牛に1日10gを給与すると、乳質の良いミルクが多く出ますので発育の良い、肋のある飼料の食い込める子牛に育ちます。※産後の食い込みが良いため、繁殖(連産)が改善されます。

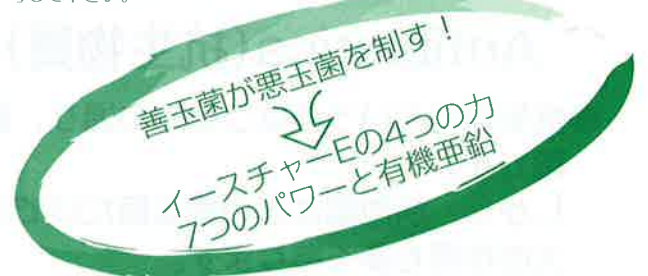
鶏・豚編

Q：豚にもイースチャーEは良いですか？

A：子豚に3~5g与えると胃腸が善玉菌の働きで良くなり、消化吸收が改善され、下痢・肺炎の少ない綺麗な子豚に育ち、ヒネ豚が少なくなります。特に授乳豚に5~10gを与えると良質のミルクが多く出ますので、子豚の離乳頭数が改善されます。飼料の消化効率、特に窒素分の消化が改善され、糞尿の悪臭を減らします。

Q：レイヤー・ブロイラーにも給与できますか？

A：プロバイオティック製品ですので特に幼雛に与えて下さい。腸管への善玉菌の定着が早くなり、下痢・その他疾病が少なくなり、産卵率、増体率、育成率が向上します。給与量は、豚、鶏ともに配合飼料トンあたり0.1~0.3%の割合で混合して給与して下さい。



酵母菌 (50億CFU/g)	乳酸菌 (2億CFU/g)	枯草菌 (2億CFU/g)	こうじ菌 (抽出物25%)
ナカカマイセスセルビシエ酵母 酵母菌3株	ラクトバチルスアシドフィルス ストロフトコカスフェニウム菌	バチルスサブティリス	アスペルギルゼー・オリゼー

